

2021年1月3日(日)

日本キリスト教団 **久宝教会**

第63巻第39号(通算3216号)

教会設立 1959年6月14日

〒581-0072

大阪府八尾市久宝寺6丁目7-10

TEL 072-992-2131 FAX 072-992-2135

郵便振替: 00980-5-212130 「日本基督教団久宝教会」

【集会案内】こどもの礼拝: 毎日曜 10:15-10:30 何かお悩みがありましたらご遠慮なくご相談ください
主日礼拝: 毎日曜 10:30-11:30 小さい子どもたちも、いつでも歓迎いたします。

しゅうほう

週報

教会標語

神様が創られたすべての命を大切に
大切にする教会



ホームページ「久宝教会」
(ウェブサイト)

<http://www.koinonia.or.jp/kyuhokyokai>

【連絡先(牛田)】090-9161-4027

kyuho-church@koinonia.or.jp

谷はすべて埋められ、山と丘はみな低くされる。曲がった道はまっすぐに、
でこぼこの道は平らになり、人はみな神の救いを見る。(ルカによる福音書3:5-6)



新年礼拝 (降誕節 第2主日礼拝)

《新型コロナウイルスの感染防止に留意しながら礼拝を行います。インターネット中継をしておりますので、ご自宅でも共に礼拝をして頂けます》

前奏 黙祷

招きの詞 エレミヤ書

31章 16-17節

賛美歌 21-278番「暗き闇に星光り」(©教団讚美歌改訂委員会)

聖書 マタイによる福音書

2章 13-23節

お祈り

賛美歌 『こどもさんびか改訂版』99番「ふるいものはみな」(©教団出版局)

メッセージ 「帰るべき故郷」

牛田 匡 牧師

賛美歌 21-472番「朝ごとに主は」(©JASRAC)

聖餐

牛田 匡 牧師

共同のお祈りと、平和のあいさつ

賛美歌 21-524番「われら名により」(©著作権消滅)

主の祈り

献げ物 (*)

派遣 21-91番「神の恵みゆたかに受け」(1節のみ) (©JASRAC)

祝福

牛田 匡 牧師

後奏 アーメン コーラス (21-40-6番) (©教団讚美歌委員会)

報告 (4頁をご参照ください)

《お隣と間隔をあけて、席にお座りになったままで礼拝にご参加ください》

* 「献げ物 (献金)」は参加費ではございません。

受付に献金箱がございます。ご用意のある方のみ、お献げください。

招きの詞 ^{ことば} エレミヤ書 31章 16-17節

16 主はこう言われる。

あなたの泣く声を

目の涙を^{おさ}抑えなさい。

あなたの労苦には^{むく}報いがあるからだ——主の^{おお}仰せ。

彼らは敵の国から帰って来る。

17 あなたの未来には希望がある——主の^{おお}仰せ。

子らは自分の国に帰って来る。

聖書 マタイによる福音書 2章 13-23節

13 ^{はかせ}博士たちが帰って行くと、主の天使が夢でヨセフに現れて言った。「起きて、^{おさなご}幼子とその母を連れて、エジプトへ逃げ、私が告げるまで、そこにいなさい。ヘロデが、この子を探し出して殺そうとしている。」14 ヨセフは起きて、夜のうちに^{おさなご}幼子とその母を連れてエジプトへ退き、15 ヘロデが死ぬまでそこにいた。それは、「私は、エジプトから私の子を呼び出した」と、主が預言者を通して言われたことが実現するためであった。

16 さて、ヘロデは^{はかせ}博士たちにだまされたと知って、激しく怒った。そして、人を送り、^{はかせ}博士たちから確かめておいた時期に^{もと}基づいて、ベツレヘムとその周辺一帯にいる二歳以下の男の子を、一人残らず殺した。17 その時、預言者エレミヤを通して言われたことが実現した。

18 「ラマで声が聞こえた。

激しく泣き、嘆く声が。

ラケルはその子らのゆえに泣き

慰められることを拒んだ。

子らがもういないのだから。」

19 ヘロデが死ぬと、主の天使が、エジプトにいるヨセフに夢で現れて、20 言った。「起きて、^{おさなご}幼子とその母を連れ、イスラエルの地へ行きなさい。^{おさなご}幼子の命を狙っていた人たちは、死んでしまった。」21 そこで、ヨセフは起きて、^{おさなご}幼子とその母を連れてイスラエルの地に入った。22 しかし、アルケラオが父ヘロデに代わってユダヤを治めていると聞き、そこへ行くことを恐れた。すると、夢でお告げがあったので、ガリラヤ地方へ^{しりぞ}退き、23 ナザレという町に行き住んだ。こうして、「彼はナザレの人と呼ばれる」と、預言者たちを通して言われていたことが実現したのである。

《先週のメッセージより》12月27日 歳末礼拝（降誕節第1主日礼拝）

ドラマティック・リーディング

朗読劇「老証人たちの賛歌」より

（聖書：ルカによる福音書1：5－2：38）

イエス・キリストの誕生を待ち望むアドベント（待降節）を経て、先週がイエス様のご降誕を祝うクリスマス礼拝でした。今は「降誕節」です。イエス様がこの世界に、人間として来られたことの意味、イエス様とはどのような方だったのかを深く思い、歳末礼拝を行います。

『ルカによる福音書』に記されているクリスマスの物語には、若いマリアとヨセフ夫婦、そして赤ちゃんイエス様という3人の小さな家族を挟み込むように、歳を重ねた4人の証言者が登場します。洗礼者ヨハネの両親であるザカリアとエリサベト、そしてイエス様の誕生の後に語る2人の預言者シメオンとアンナです。この4人の証言に注目する時、不思議に彼らの中心にいる幼子イエス様が浮かび上がってきます。それはちょうど4人の老証人たちが、それぞれの明かりをかざして、私たちにイエス様の姿をハッキリと映してくれているかのようなのです。

子どもが与えられないまま年を重ねたザカリアとエリサベトの老夫婦に、み使いが現れて洗礼者ヨハネの誕生を告げました。エリサベトのように、またイエス様の母マリアのように、私たちが神様が告げられたことを、信頼をもって受け止め、歩み出す者へと変えられていきましょう。もちろん、この目に見える世界や私たち自身の中に、希望や可能性をかけらも見出せない時もあります。しかし、神様の力はそこにこそ働かれます。預言者シメオンやアンナのように、待ち望んで来た者、求めて来た者を神様は決して見捨てられません。長い間の忍耐を顧み、それぞれの想いを知っていただきます。私たちは自分の思いに頼り、つまずきやすい者ですが、神様はそのような私たちを導き、神様に信頼して歩みを起こす者へと変えて下さいます。

神様は長い時間をかけて、このクリスマスに、驚くべき方法で、私たちに喜びと慰め、希望を与えてくださいました。神様を離れ、帰るべき場所を失った私たちが、もう一度神様と出会い直すために、その独り子が送られました。神様が人間となったクリスマス。イエス様は人間になり、そして今、私たちはそのイエス様の中に生かされています。

今年は、新しい病気に世界中が振り回された一年でした。医療・介護従事者の緊張と奮闘は今も続いています。年末年始も親しい人たちと集うことができません。多くの課題があります。しかし、そのような中であっても、いつも共にいてくださる神様と共に、私たちは歩みを進めていきます。

毎週の「メッセージより」は、ウェブサイト等にも順次掲載されています。

ホームページ



Facebook



LINE 公式アカウント

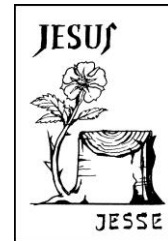


◎ 先週の報告 (12月27日)

礼拝出席 大人5名 子ども2名 献金 大人4,000円 子ども500円 感謝
 礼拝後に釜ヶ崎支援のための「おにぎり作り」を行い、135個のおにぎりを作って、
 いこい食堂にお届けすることができました。どうもありがとうございました。

◎次週 2021年1月10日(日) 降誕節 第3主日礼拝

招きの詞 サムエル記 上 16章 7節
 聖書 マタイによる福音書 3章 13-17節
 メッセージ「人は見かけか、内面か」 牛田匡牧師
 賛美歌 21-277番 (©JASRAC) 21-499番 (©JASRAC)



礼拝後に1月期の「教会を考える会(役員会)」を行う予定ですが、コロナの感染
 状況によっては、皆で集まるのではなく、書面による稟議となる場合があります。

◎お知らせ

- ・新型コロナウイルス感染拡大のため、教会堂に共に集まって礼拝する形にこだわらずに、インターネットの中継配信を利用した在宅での礼拝など、それぞれの方が参加しやすい形で礼拝に参加ください。教会では、朝の検温、手指消毒とマスク着用、お隣の方との間隔をあけた着席をお願いいたします。「週報」や「メッセージ(全文)」はホームページからダウンロードして頂くことができます。またご希望の方にはそれらをご自宅までお届けいたします。
- ・「クリスマス献金」は、昨年度から引き続き、「関西学院大学神学部」「日本基督教団開拓伝道支援」「キリスト教在日韓国朝鮮人問題活動センター」「日本基督教団部落解放センター」「一般社団法人・神戸国際支援機構」「釜ヶ崎・いこい食堂(おにぎり基金)」の6団体に献金致します。現在、集計中で次週の「教会を考える会」にて確定いたします。クリスマス献金をまだお手元にお持ちの方も、まだ献金して頂くことができます。
- ・1月14日(木)9時半~11時半、釜ヶ崎・いこいの家にて本田哲郎神父と「聖書を読む会」があります。テキストは本田哲郎訳「ヨハネの手紙1・2・3」でコピーが配布されます。参加費は無料で、希望者がカンパをしています。
- ・1月16日(土)13時から、エルおおさかにて「中村哲さんの意志を引き継ぎ世界の平和をめざそう！」(とめよう!戦争への道めざそう!アジアの平和2021関西のつどい実行委員会主催)が行われます。コロナ対策のために会場の座席数に制限があります。資料代500円(介助者・中高生無料)。詳細は左記まで <http://www17.plala.or.jp/kyodo/>

とめよう!
戦争への道
めざそう!
アジアの平和
2021
関西のつどい

1月16日(土) 12時半開場-13時開会/会場:エルおおさか(2Fエルシアター)
 ※13時~DVD上映/資料代500円/手続費あり(介助者・中高生無料)

講演 藤田千代子 (65歳、ちよこ) さん、プロフィール
 国際医療福祉大学、看護、ベトナムに赴き、1994年12月4日、軍事による紛争の
 被害者として、10年以上にわたって、戦争を止めるための活動をしてこられた。
 1998年4月、日本の新聞で「ベトナムに赴かれた『PMS(平和活動)』(雑誌は中村
 哲郎)では、『藤田千代子』の欄が載りました。特に、アジアの平和を築く女性活動家
 として、その活動が国際的なネットワークの構築に大きく貢献し、一歩一歩、世界の平和
 への道を歩んでこられた。
 中村哲郎の意志を引き継ぎ、2009年からはベトナムの平和活動でPMS 国際活動及びPMS
 結核結核として活動を支えています。

■料用費
 団体:1口 3000円
 個人:1口 1000円
 ■事前申込先
 06980-6-101680
 戦争を止める 基金いん 関西のつどい

長年にわたり、内戦・伝染病・貧困・飢饉などに苦しむアフガニスタンで人々のいのち
 を救うために汗を流し、医療活動を行ってきた中村哲郎が、困難に翻れてから半年、1
 年が経ちました。
 軍事力を用いた強要買収や改革の動きがやまない日本にあって、中村哲郎をもって
 示した「日本は、軍事力を用いない分野での貢献や援助を果たすべき」との信念を、今こ
 そいこそ踏みます。
 中村哲郎の意志を引き継ぎ、アジアと世界の平和をめざしましょう!

とめよう!戦争への道・めざそう!アジアの平和2021 関西のつどい実行委員会
 大阪平和人権センター/しんじさいない教育協力関西ネットワーク
 /戦争を止める1000人委員会・大阪

主催者連絡先:大阪東区 (06-6762-5181) /大阪平和人権センター (06-6351-0793)
 /Fax:06-6358-1630 /しんじさいない戦争協力関西ネットワーク (06-6364-0123/
 Fax:06-6364-0247 平北法律事務所)

◎ 次週以降の行事予定

	会場	メッセージ	行事
1/10	久宝寺地区	牛田牧師	教会を考える会
1/17	久宝まぶねこども園 (新園舎・教会堂)	水谷牧師?	
1/24	(場所未定?)	牛田牧師	誕生者祝福式?・おにぎり支援
1/31	久宝寺地区・教会堂	武久盾牧師	(河内地区有志教会講壇交換) 住道一粒教会との講壇交換